

- ・令和 5 年度～令和 10 年度において、施設の点検・修繕等に対し、新技術を活用することを目標とします。

（8）費用縮減方針

- ・定期点検結果から得られた損傷状況をふまえて、予防保全段階（Ⅱ）判定箇所についても修繕等を検討することで、高コスト化を回避し、ライフサイクルコスト（LCC）の縮減を図ります。

- ・集約化・撤去、機能縮小の検討を行ったが、迂回路がある、利用者が少ないなど集約化、撤去等の可能性がある施設がないため、ライフサイクルコスト（LCC）の縮減に努めます。